北都新聞

発行所
株式会社北都新聞社
■本　社■
〒098-0502
名寄市風連町北栄町146-1
☎　01655-3-3111
FAX 01655-3-4031

Eメール
ownstyle@lily.ocn.ne.jp

ピヤシリ山の冬

別世界

名寄

冬季体験ツアー好調

海外4割

アジアのインバウンド注目

【名寄】冬のピヤシリ山頂を目指す体験ツアー「パウダースノーサファリ」が、雪のないアジア圏のインバウンドから注目を集めている。2023年度は受け入れの約4割が海外で、国内客はリピーターが多い。なよろ観光まちづくり協会は「別世界に来たような感覚になるのが魅力」と話し、PRに力を入れている。（吉永雅人）

同協会が名寄ピヤシリスノーモビル協会と連携して提供する体験コンテンツのひとつで、今季5シーズン目。ガイド運転手付きのスノーモービルに同乗し、ピヤシリスキー場のふもとにある、なよろ温泉サンピラーを出発し、標高986・6㍍の山頂を目指してパウダースノーの林道を駆け上がる。

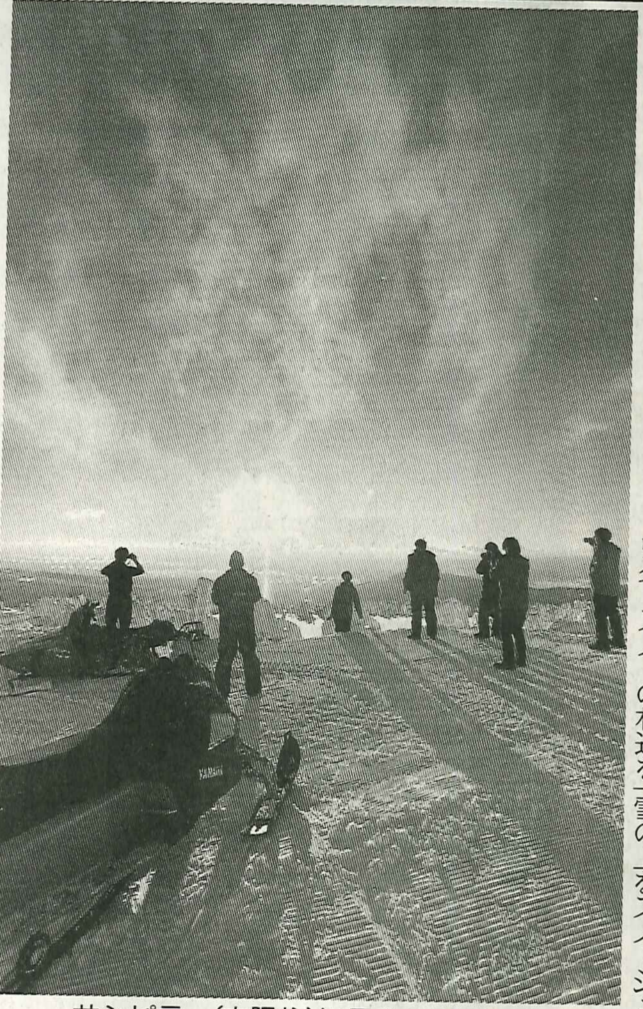
森林限界を超えた山頂付近では、樹氷の育った巨大な「スノーモンスター」、天候によってサンピラー（太陽柱）現象を見ることができる。山頂からは360度のパノラマが広がり、晴天ならオホーツク海の流氷、利尻山を遠望。ふわふわの新雪の上をスノーシューで歩いたり、避難小屋ではもち米玄米コーヒー、薪ストーブでの焼きマシュマロを味わうことができる。

参加者は年々増加しており、昨年度は93人を受け入れた。23年度は1月26日現在で予約を含めすでに115人で前年実績を超えている。半数が東京、神奈川、大阪などの道外で、海外も全体の37%を占める。マレーシア、シンガポール、台湾など雪の降らないアジア圏からの家族旅行、若いカップルが多い。

同協会は「スキー場もインバウンド客が増えているが、パウダースノーサファリはスキーをせず、みんなこの体験を目的にやってくる。ホームページの動画、インスタグラムなどのSNSを見て感動し、旅行会社を通して申し込んでくる人も多い」と話す。

ツアーは往復2時間から2時間30分で、利用料は1人1万2000円とリーズナブル。電熱手袋、ゴーグル、ヘルメット、フェイスマスクは無料レンタルで、体ひとつで気軽に参加できるのも魅力だ。今年度は、寄付額4万円のふるさと納税返礼品にもなった。

インバウンドの注目を集めていることについて、同協会は「冬のピヤシリ山は標高700㍍を超えると気温が上がらず、森林限界で木が低く、別世界のような景色が広がる。一面の銀世界、吹雪さえも感動してもらえる。自分だけが貸し切ったという感覚になれることも魅力ではないか」と手ごたえを話す。ツアーは3月まで。問い合わせは同協会（電話01654・9・6711）。


サンピラー（太陽柱）に見入るツアー客

ピヤシリ山頂
標高九八六・六米

スノーシューでピヤシリ山頂に向かう

樹氷の広がる別世界のような景色が感動を呼んでいる

人気の樹氷と写真撮影する参加者

和寒町商工会

小規模事業者を支援

策定、策定後、開拓の3段階で

【和寒】町商工会は、2023年度町商工会伴走型小規模事業者支援推進事業を実施している。

支援は3つの段階に着目し「、事業計画策定・事業継承のための支援（セミナーおよび個別相談）」「事業計画策定後の支援」「新

レストラン
ヒビンカ
日本料理
福鶴亭
GRAND HOTEL FUJIKA
グランドホテル藤花
名寄市西5南4
☎01654③2323㈹
http://www.fujika.jp/

ミニ放談

1月2日に羽田空港で発生した旅客機の事故では乗客乗員379人全員が助かった。ただ、同機に限っての話であれば、次に気になるのは貨物としてあつかう動物のこと。今回の事故の際は2匹が犠牲になったらしく、あらためて心を痛める。イヌの場合は働くイヌである場合もあり、客席に乗ることもあるのだろうか。もしそうであれば、脱出時にどうするかはもっと難しい。能登半島地震による被害からの復旧はまだまだ始まっていないとも、着々と進んでいるとも言える。もちろん人間優先ではあるが、動物のお世話にもなっているのだから。（俊）